



### 著者プロフィール

藤本安騎生 (ふじもと・あきお)  
本名 井戸茂 (いど・しげる)

昭和3年 兵庫県生まれ  
昭和54年 右城暮石に師事、「運河」入会  
昭和57年 同人  
昭和59年 俳人協会会員  
昭和62年 第一句集『耳石』刊  
平成3年 「晨」同人参加  
平成8年 第二句集『夢の淵』刊  
現在「運河」天水集同人  
俳人協会評議員  
奈良県俳句協会理事

〈句集『深吉野』より転載〉  
〈2003年5月26日時点〉

### 『深吉野』(自選十五句)

藤本安騎生

手を水に浸けて暮石の忌なりけり  
芒山降り来し杖を土に差す  
飄々と草間先生後の月  
この世よりおもしろきかな箱眼鏡  
焚火してあたらずをんな働けり  
陶物の壺も恋せよ水温む  
茶の畝にかぶさり来たる花南瓜  
杉簷を利休に仕上げ青簾  
杣人の弁当吊す泉かな  
狛犬の口中歩く秋の蜂  
山高く生まれし蝶と童女かな  
沢蟹の溝に冷せる茶粥かな  
水入れてゐる秋茄子の畑かな  
煤逃げや菅塚の立つ在所まで  
宮滝に瑠璃を湛ふる春の水